

## 短稈で多収の黄色い糯あわ品種「アワ岩手糯 11号」

### 【1 アワ岩手糯 11号の特徴】

- (1) 出穂成熟期ともに「ゆいこがね」並みで、稈長が短く、多収の糯あわ品種です。(図1、表1)
- (2) 子実は、「ゆいこがね」に比べて、黄色味が鮮やかで濃いです(図2)。

### 【2 栽培法及び収穫適期】

- (1) 基準窒素施肥量を追肥と合わせて8 kg/10a とすることで、慣行栽培(基肥窒素成分4 kg/10aのみ)に比べ、2割程度の収量増加が見込めます(図3)。
- (2) 収穫適期は出穂後の積算気温が1000~1150℃を目安とします。

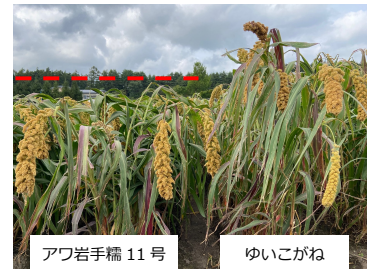


図1 アワの生育状況(9月中旬)

表1 アワ岩手糯 11号の栽培特性 (R1~R4)

品種・系統名	栽培方法	生育ステージ(月/日)		倒伏程度(0-5)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m <sup>2</sup> )	子実重		千粒重(g)	b*値
		出穂	成熟					(kg/a)	比(%)		
アワ岩手糯 11号	移植	8/1	9/24	0.0	86.0	22.3	54.3	45.7	107	2.27	38.9
		ゆいこがね	8/1	9/24	1.1	116.6	20.0	34.3	42.8	(100)	2.28

b\*値は色彩色差計により測定した黄色味を示す色彩値

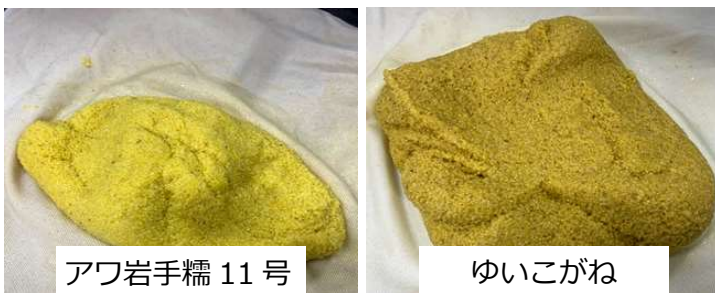


図2 加工試験(炊飯後の様子)

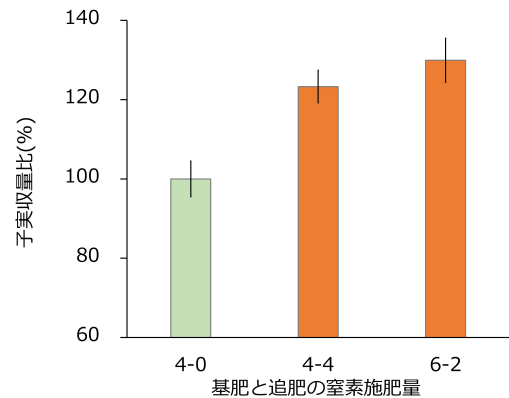


図3 窒素施肥量と子実収量比 (R3~R4) (4-0区の収量を100として算出)

### 【3 留意事項】

- (1) 追肥時期は、収量増加の観点から、6月上中旬に移植した場合、7月中下旬(幼穂形成開始後)とすることが望ましいです。
- (2) 成熟期は栽培時期や地域、気象条件等により異なるため、成熟期判定の際は子実水分や子実・穂の色から総合的に判断することが望ましいです。